

# 2月

## 上高自治振興区



# 夢まちだより

(令和6年2月20日発行)

庄原市高野町新市1283番地

☎:0824-86-2214

FAX:0824-86-2357

e-mail: kamitaka.zichi@gmail.com

2月の節分のころと言えば、一昔前まで大雪に見舞われ、寒さも厳しいものでした。今年、ほぼ雪もなく、通勤やおでかけ等運転するのは楽ですね。とはいえ、寒さ厳しい折、みなさまお身体にお気をつけてお過ごしください。



### 町内の様子

2月4日(日曜日)に、「雪合戦ひろしま2024in高野」が高野スポーツ広場で開催されました。

県内外から43チームが参加し、高野町の20代の若手でつくる「雪人」チームが優勝されました。

今年は雪不足での開催となり、大会の準備をされた関係者のみなさん、お疲れさまでした。



★3月：予定★	3月6日(水曜日) 時間:9:00~12:00頃	とんぼ玉づくり 【内容】ガラス細工 ■講師: 口和町: 清水啓子様	■集合場所: 上高自治振興センター ■参加費: 1,000円 ■別紙チラシをご覧ください。
	3月5日(火曜日) 時間:13:30~	高齢者福祉部会	■場所 上高自治振興センター 講堂
	3月12日(火曜日) 時間:19:00~	自治会運営部会	■場所 上高自治振興センター 研修室



「とんぼ玉づくり」になみかカードをご持参ください。(10ポイント付与)

※シニアストレッチ教室・パソコン教室・子ども塾は通常通り実施します。

お知らせ	令和6年度子ども塾 「小学生・中学生(数学)」塾生募集	上高自治振興区だより(夢まちだより) 【掲載記事募集】😊
	上高自治振興区では、学校での基礎学力が定着するよう、少人数で個々に対応した学習の宿題のサポートを行っています。 新年度も継続し、家庭との連携をとりながら、一人ひとりに合った細かい指導を行っています。3月5日の行政回覧のチラシをご覧ください。	上高自治振興区では、各自治会等の活動や、いい話・困った話など、「夢まちだより」でご紹介させていただき、地域へ情報提供ができればと思います。 取材に行きますので、各自治会長をはじめ、地域の皆様からの情報をお願いいたします。

いつでも、ご相談ください。電話:0824-86-2214

※各自治会・下高自治振興区・各関係機関(行政・社協等)とも連携させていただきます。

😊みなさん、今年も上高自治振興区へお気軽に寄ってください

「和創作くらね」亀谷さんに、「魚の煮つけ・かぼちゃの煮物」を教えてくださいました。



しっかり説明を聞いて



分量はこれでいいかいの



ふっくら美味しく  
できました



このくらいいい  
かねえ

【参加者の感想】

- ♥ かぼちゃの煮つけも、水が少ないのではと思ったが出来上がりは丁度よかったです。
  - ♥ 自分で魚の煮つけをすると固くなります。やわらかく煮るための「コツ」を教えてくださいました。
  - ♥ みんなで「わいわい」楽しかったです。
- ◇皆さん、「次は魚のおろし方を教えてください「海鮮丼」を作りたいね」と声が聞かれました。



♥ 縫わないで作る「小物入れ&ポーチ」を作りました ♥



♥ ステキな作品ができました ♥

【参加者の感想】

- ◇布切れ、テープ、ボンドと身近にある材料でステキな小物入れやポーチができ、ルンルン気分でした。
- ◇少しの時間でステキな作品ができました。頭の体操になり、ボケ防止になりました。
- ◇みやすいようで難しいけど、楽しい、今度も参加したいです。
- ◇縫わないで作る小物入れは「おやつ入れ」、布製マチ付き縫わないポーチは「文具入れ」にします。みんなに自慢します。
- ◇冬で外仕事もなく、ゆっくり作品作りができました。小物入れは知恵の輪のようで難しく頭を使いました。ポーチは手先が動かなく大変でした。
- ◇とても楽しい教室でした。これからも、こんな教室開いてもらえると、嬉しいです。

## 【福祉だより】

上高自治振興センター(福祉)地域マネージャー  
令和6年2月

高齢者が増え、若い世代が少なくなる中で、地域を盛り上げてくださる、若い方が帰ってこられたとお聞きし、さっそく取材に行ってきました。

## 【ふじのや3代目】を紹介

新林政治さん 31歳

神戸の専門学校卒業後、洋菓子店で修業していましたが祖父母もまだ現役で作ってくれているので《今でしょ》帰り時かなと思い《帰ってきました》

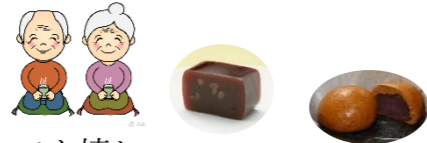
おじいちゃんの味を習いながら【ふじのや】をしっかり継いでいきふじのやを代表する新商品を創りたいと思っています。

今は地元の人たちや道の駅が販路のメインになっていますが、支所・観光協会の力を借りて、ネットでの販売にも力を入れたいと思います。

幅の広い世代の仲間に入れてもらって、町内外の情報を共有しながら、地域に根付いた【ふじのや】を町外へも発信できるように活動をしていきたいと思っています。



### じいちゃんからの一言



「後を継ぐ」と言うて帰ってくれてとっても嬉しい。  
「おじいちゃんに教えてもらいたい」と嬉しいことを言うてくれるので教えがいがあるし元気がでできます。長生きができそうで涙が出ます。  
自分が今まで築き上げてきた【ふじのや】を全部教えたい。



### お父さんからの一言



「一緒にしよう」と帰ってくれたのでふじのやの味、技術を息子へ繋げられるのが嬉しい。  
新しい商品と一緒に考えながら作っていきたい。  
高野の名産作りに一役立てばと思えば益々力が湧いてくる。  
家内工業なので一丸となって頑張りたい。

神戸から帰ってこられた「ふじのや」3代目、新林政治さん1日も早く地域に溶け込んで、活性化に貢献したいそうです。「ふじのやを継いで、新商品を創り販路の拡大にも力を入れたい」と思いを語って下さいました。清々しい、今どきのイケメンです。家族はもちろん、地域も大喜びです。皆さんも美味しいスイーツを食べて応援していきましょう。  
地域マネージャー・坂本



## 【防災だより】

上高自治振興区(防災)地域マネージャー  
令和6年2月  
【上高自治振興区 ☎ 0824-86-2214】

本年1月1日に発生した「能登半島地震」は、石川県の死者が236人、安否不明19人(1月25日現在)、住宅被害が4万1,834棟の住宅で被害が確認されたということです。

被災から1ヶ月経過しても1次避難所、1.5次避難所、2次避難所併せて4,640人以上が避難所生活を送り、更には、住み慣れた地域での生活再建をあきらめ、移住を余儀なくされ、地域コミュニティの存続が懸念されています。

地盤の隆起、液状化などにより住宅・道路・港等に大きな被害をもたらす避難・物資の補給・安否確認に大きな影響が出ました。しかも、海岸線以外は、険しい山岳地帯で道路の多くは、海岸線に沿っていることから背後地のがけ崩れ、崩落により寸断されました。

また、輪島市では、建物倒壊、道路の損壊、断水により消火活動の妨げとなり「火災・延焼」により大きな被害となりました。



### 「巨大地震」に備えて

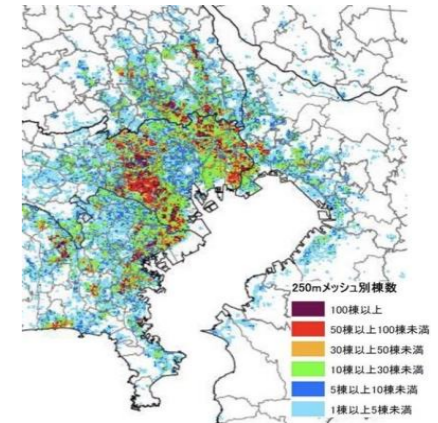
今後、近いうちに発生する確率が高い地震として、「首都直下型地震」・「南海トラフ地震」の巨大地震が懸念されています。

どちらの地震も、30年以内に起こる確率が、70%程度と予測され、「近いうちに必ず起こる地震」と言われています。

「南海トラフ地震」では、東北地方から九州地方にかけて10mを超える津波が予想され死者数は32万人を超えると予測されています。

建物被害が多い県は、愛知県・大阪府・静岡県を始め太平洋側の四国・九州まで想定されています。

### 首都直下型地震



NHKより

### 巨大地震が起きるとこんなことが起きます

- 食糧不足、飲料水不足、避難所・毛布等の不足。
  - 被災地内外での買い占め、交通網の損壊による配送困難、保管スペースの不足、物資が届いても適切な管理、効率的な配分が困難となります。



NHKより

## 2. コンビナートの破損、固定電話の不通。

- ① 静岡から大分までの石油コンビナートの2万9千余りの施設のうち、火災・津波による流失、損壊により燃料の供給が困難となる。固定電話も沿岸部で9割に支障が発生、携帯電話も8割の基地局が停止し、使えたとしてもつながり難い状態が続きます。

## 3. 「救えるはずの命」を守るために

- ① 地震により火災が発生すると倒壊建物、道路の寸断、水利の確保困難、また、一度に多くの場所で火災が発生、救急活動と併せ機材・人員不足により被害が拡大します。
- ② 大きな災害が発生すると「未治療死」や「経済破綻」、「住宅難民」が生じ、災害から何とか生き延びたとしても次々困難が待ち受けます。

## 4. 医療機関・薬剤不足の発生

- ① 重傷者や被災医療機関からの移送患者が多発する一方で**医師や看護師**が不足する。また、水不足や停電で人工透析を受けられないことが懸念されます。

## 5. 交通・物流への影響

- ① 道路・鉄道・港湾の損壊が地震・津波で全線不通・線路の変形・高架の損壊、空港の浸水などにより**物流・避難**に大きな影響を障害となる。



広島県 HP より

## 6. 地震発生 その時どう身を守る？

- ① 頭を保護し丈夫な机の下など安全な所に避難。
- ② 慌てて外に飛び出さず無理に火を消そうとしない。  
台所、暖房器具や「通電火災」、家屋の配線が傷ついたことにより火災が発生することがあります。(ガスのマイコンメーターは、震度5程度の揺れで自動的に遮断されます。)
- ③ 家具の転倒や照明の落下に気を付ける。(家具の転倒で下敷きになる、逃げ場を失う。)  
(家具は、固定金具【つっぱり棒・ベルト・L型金具】で固定)
- ④ 家具が転倒しドアが開かなくなることがあるので設置する場所、向きに気を付けましょう。
- ⑤ 上下が分割している家具は、上部が落下する危険があります。連結金具等で固定するようにしましょう。
- ⑥ ガラスや瓦の破片で怪我をしないよう靴をはいて避難しましょう。
- ⑦ 山や急斜面では、がけ崩れに注意しできるだけその場から離れる。建物の2階以上、又は、崖から離れた部屋へ避難しましょう。

## 大規模災害に備えましょう

**能登半島地震**をはじめ「**想定を超える**」災害が多発しています。地震・津波をはじめ、温暖化による気象の激化、線状降水帯による洪水発生など大きな災害が多発しています。

この度の「能登半島地震」も**半島**という地理的条件もありますが、かつて「**北前船**」として漁業・海運で栄えてきたところも陸上運送の発達から集落が衰退、高齢化が進み、犠牲者の多くが「**高齢者**」となっています。

高齢者の逃げ遅れ、持病を持っている方をはじめ「**災害関連死**」の防止、「**介護を要する方の避難**」など多くの課題が指摘されています。

また、時間の経過とともに「**避難所運営**」についても、被災建物の片付け、若い世代の職場復帰などにより「**高齢者による避難所運営**」をせざるを得ないところが多くなっているとも言われています。

## 7. 今後の災害に備えて

この度の「能登半島地震」の分析の中でも「**高齢者世帯**」が非常に多いことから、**高野町にも共通する多くの「災害への備え」**の必要性も見えてきています。

- ① 緊急時には、公的支援が間に合わないことが多く、**自助・共助**の備えが大切となります。
- ② 避難する時は、隣近所にも声を掛けあって早めに避難しましょう。
- ③ 大雨の際は、「**豪雨**」になってからの避難は、とても困難となります。**早めに避難行動**を始めましょう。
- ④ 大災害により物流が途絶えると食材や常備薬・日用品が不足します。また、一時的に買占めも懸念されます。非常食は、賞味期限を見ながら消費・備蓄していく「**ローリングストック法**」に心がけましょう。
- ⑤ 普段服用している薬がある場合は、避難の際には「**お薬手帳**」を忘れないよう持参しましょう。
- ⑥ 避難所では、災害関連死の防止の為、各自、衛生環境の保全につとめましょう。

